

四種混合(初回)ワクチン予防接種について

【 病気の説明 】

四種混合ワクチンは、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオの4種類の病気のそれぞれに対するワクチンを混合して、4種のワクチンを1度に接種できるようにつくられたワクチンです。

○ジフテリア

ジフテリア菌の感染で起こります。症状は高熱、のどの痛み、せき、嘔吐などですが、扁桃に偽膜とよばれる膜ができ、呼吸困難を起こすこともあります。発病2、3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こす場合があります。

○百日せき

百日せき菌の感染で起こります。かぜのような症状で始まり、続いて、連続的にせき込むようになります。せきのあと急に息を吸い込むので、笛を吹くような音がでます。乳幼児はせきで呼吸ができず、唇が青くなったり(チアノーゼ)けいれんが起きたりすることがあります。肺炎や脳炎などの重い合併症を起こし、乳児では命を落とすこともあります。

○破傷風

土の中にいる破傷風菌が傷口から体内へ入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉のけいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状が気付かれ、やがて全身のけいれんを起こすようになり、治療が遅れると死に至ることもあります。患者の半数は本人や周りの人では気が付かない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいますので、感染する機会は常にあります。

○ポリオ(急性灰白随炎)

ポリオは「小児麻痺」ともよばれ、糞便中に排泄されたウイルスが口やのどから体に侵入して感染します。このウイルスに感染しても多くの人は症状が出ませんが、軽いかぜ様症状や胃腸炎症状を起こすこともあります。感染者の1,000～2,000人に1人の割合で手足の麻痺を起こし、一部の人には永久に麻痺が残ります。麻痺症状が進行し、呼吸困難により死亡することもあります。日本では自然感染による患者発生はありませんが、一部の国では今でもポリオの流行があります。

【 対象者 】

生後3か月から7歳6か月になる日の前日までの者

【 接種間隔・接種回数 】

1期初回：標準的にはそれぞれ20日以上、56日までの間隔をおいて3回接種。

【 副反応 】

主な副反応は、接種部位の発赤、しこり、はれなどの局所反応です。重い副反応として、まれですが、ショック、アナフィラキシー、けいれん、血小板減少性紫斑病などがみられることがあります。